

CASBEE_Sapporo2014v1.2
ル・サンクニナ四軒公園

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目					建物全体・共用部分	住居・宿泊部分		全体						
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄						評価点	重み係数		評価点	重み係数				
配慮項目	A	B	C	D						評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体					
Q 建築物の環境品質																			
Q1 室内環境															0.40		-		3.2
1 音環境														2.0	1.15	2.3	1.00	2.2	
1.1 騒音														1.0	0.50	1.0	0.50		
1.2 遮音														3.0	0.50	3.7	0.50		
1 開口部遮音性能														3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能														-	-	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)														-	-	4.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)														-	-	4.0	0.20		
1.3 吸音														-	-	-	-		
2 温熱環境														1.0	0.35	5.0	1.00	4.1	
2.1 室温制御														1.0	1.00	5.0	1.00		
1 室温														-	-	-	-		
2 外皮性能	A														1.0	1.00	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性														-	-	-	-		
2.2 湿度制御														-	-	-	-		
2.3 空調方式														-	-	-	-		
3 光・視環境														2.4	0.25	3.8	1.00	3.5	
3.1 昼光利用														4.2	0.30	4.6	0.50		
1 昼光率														5.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口														-	-	5.0	0.30		
3 昼光利用設備	A														3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策														1.0	0.30	3.0	0.50		
1 昼光制御	A														1.0	1.00	3.0	1.00	
2 眩り・まぶしさ対策														-	-	-	-		
3.3 照度														1.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御														3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境														3.6	0.25	3.8	1.00	3.8	
4.1 発生源対策														4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質														4.0	1.00	4.0	1.00		
2 浮遊尘埃汚染物質														-	-	-	-		
4.2 換気														3.0	0.40	3.6	0.38		
1 換気量														3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能														-	-	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮														3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理														-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視														-	-	-	-		
2 喫煙の制御														-	-	-	-		
Q2 サービス性能														-	0.30	-	-	3.1	
1 機能性														2.4	0.40	3.4	1.00	3.1	
1.1 機能性・使いやすさ														3.0	0.40	4.0	0.60		
1 広さ・収納性														-	-	4.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応														3.0	1.00	-	-		
3 バリアフリー計画														1.0	0.30	2.5	0.40		
1.2 心理性・快適性														-	-	4.0	0.50		
1 広さ感・景観														-	-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース														1.0	1.00	1.0	0.50		
3 内装計画														3.0	0.30	-	-		
1.3 維持管理														3.0	0.50	-	-		
1 維持管理に配慮した設計														3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保														3.0	0.50	-	-		
3 衛生管理業務														-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性														2.9	0.30	-	-	2.9	
2.1 耐震・免震														3.0	0.50	-	-		
1 耐震性														3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能														3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数														3.0	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数														5.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	B														2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	B														3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	B														3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	B														3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	B														2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性														2.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備														3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備														3.0	0.20	-	-		
3 電気設備														3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法														1.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備														3.0	0.20	-	-		
3 対応性・更新性														2.8	0.30	3.4	1.00	3.2	
3.1 空間のゆとり														-	-	3.8	0.50		
1 階高のゆとり														-	-	5.0	0.60		
2 空間の形状・自由さ														-	-	2.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり														-	-	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性														2.8	1.00	-	-		
1 空調配管の更新性														3.0	0.20	-	-		
2 給排水管の更新性														2.0	0.20	-	-		
3 電気配線の更新性														3.0	0.10	-	-		
4 通信配線の更新性														3.0	0.10	-	-		
5 設備機器の更新性														3.0	0.20	-	-		
6 バックアップスペースの確保														3.0	0.20	-	-		

CASBEE_Sapporo2014v1.2
ル・サンクニ十四軒公園

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			C			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			C		交差点に対して壁面を後退させ圧迫感を軽減している。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D		2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				日本住宅性能評定基準の断熱等性能等級4を満たしている。	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	A					3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.91	4.9	0.50	-	-	4.9
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A					-	-	-	-	-
集合住宅の評価(3c)	A				潜熱回収型の給湯設備を使用している。	4.9	1.00	-	-	-
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	A					3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	A					-	-	-	-	-
集合住宅の評価						3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					節水型器具を使用している。	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減						2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減		B				2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			-	1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			乾式間仕切、断熱材のウレタン吹付等、分別が比較的容易である。	4.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避						4.0	0.70	-	-	-
1 消火剤		B			ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	0.50	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		B			ODP=0、GWP<10の断熱材を使用している。	4.0	0.50	-	-	-
3 冷媒		B				-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		B			LC02排出率が68%である。	4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮						3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.5	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		B				3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制					十分な駐車スペースを確保している。	4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D	棟内ゴミステーションによる十分なスペースの確保。	4.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮						3.3	0.33	-	-	3.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	-
1 騒音						3.0	1.00	-	-	-
2 振動						-	-	-	-	-
3 悪臭						-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制						3.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制						4.7	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					「光害対策ガイドライン」のチェックリスト項目の過半を満たしている。	5.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					バルコニーの設置によりグレアの抑制を行っている。	4.0	0.30	-	-	-